

2023 中小春季生活闘争未解決組合を支援する特別決議（案）

本日、第 94 回メーデー阿南那賀海部地区集会において「支え合い・助け合う社会をつくり、くらしをまもる！笑顔あふれる未来をめざし力を合わせ、ともに進もう！」のスローガンのもと、南部地域協議会の構成組織が一丸となり、2023 春季生活闘争の勝利に向けて闘う重要性を再確認することができた。

ほぼ 40 年振りとなる物価高の中、多くの組合が賃上げを中心とする「人への投資」に拘った要求を提出し、現在、その要求に沿った回答を引き出すべく、精力的に交渉し闘っている。

「人への投資」が低迷し、雇用・労働条件の向上が置き去りにされてきた結果、我が国の経済と賃金は 20 年以上にわたり停滞してきた。この現状から賃金も物価も経済も安定的に上昇する姿へとステージを変えていくために、我々労働組合がけん引役となり、2023 春季生活闘争をターニングポイントとして賃上げを勝ち取っていく。

あわせて、連合がめざす「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の実現に向け、私たちが求める政策・制度要求への取り組みを強力に推進していく。

連合の 4 月 11 日時点の 2023 春季生活闘争第 4 回回答集計で、平均賃金方式で回答を引き出した 3,066 組合の「定昇相当込み賃上げ計」は加重平均で 11,022 円・3.69%UP で昨年同時期を上回り、うち 300 人未満の中小組合 1,975 組合は 8,456 円・3.39%UP ですべての規模区分で昨年同時期を上回った。集計時点で「賃上げ分」の集計を開始した 2015 年闘争以降で額・率ともに最も高く「賃上げの流れ」はしっかりと引き継がれている。組合員の生活安定や「人への投資」、月例賃金にこだわった粘り強い交渉を行った結果と受け止める。

労使は社会的責任を果たすため、今こそ答えを出す時である。

すべての働く仲間の「くらしをまもり、未来をつくる。」この断固たる決意をもって、構成組織や各労働組合、職場組合員に至るまで組織の総力を結集し、未解決組合の 2023 春季生活闘争の早期決着に向けて闘い抜く。

以上、決議する。

2023 年 5 月 1 日
第 94 回メーデー阿南那賀海部地区集会